

小野市地域公共交通会議

平成21年3月4日設置

平成22年4月1日連携計画策定



概要

鉄道、バスなどの公共交通事業者は、少子高齢化の進展や、自動車の普及などにより利用者が減少傾向にあり、運賃だけでは採算が取れない現状となっている。また、市内を走るコミュニティバスは、費用対効果などの観点から、10ルートを週2日、1日2往復と限られた運行であるため、利用が大きく制限されている状況である。今後は、公共交通を可能な限り維持存続するため、地域住民と公共交通事業者、自治体が積極的に連携し、現状や課題・問題を抽出し小野市の地域性や創造性を活かした交通ネットワークを構築する必要がある。

○バスターミナルの整備

大型スーパーの小野サティ敷地内にコミュニティバスの拠点となるバスターミナルを設置し、市内のネットワークを構築します。

○コミュニティバスの実証運行 河合統合ルート他13ルート

大型スーパー敷地内にバスターミナルを設置し、地域住民にとってより利便性の高い路線及び運行形態に再編、買物時間、診療時間、登下校に合わせたダイヤ設定により実証運行する。

○路線図、時刻表の作成

バスの乗り継ぎ方法やルート、時刻表等の情報提供を、高齢者や初めてバスを利用する方にもわかりやすく行います。

